

事前評価個表

整理番号	23
------	----

地域（地区）名	<small>ふくおか</small> 福岡	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	福岡県	対象市町村	<small>ふくおか</small> 福岡市ほか 16 市町
事業実施期間	R2 年度 ～ R6 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、福岡県の北西部に位置し、北部は玄界灘に面し、南西部は佐賀東部森林計画区、南部は筑後・矢部川森林計画区、東部は遠賀川森林計画区に接しており、大島、相島、玄海島、小呂島及び能古島等の離島が点在している。</p> <p>本地区の森林面積は 51 千 ha（森林率 43%）、対象民有林面積は 40 千 ha（森林全体の 78%）、うち人工林面積は 25 千 ha（人工林率 64%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、木材として利用可能な区齢級以上のスギ・ヒノキ林面積が全体の 88%を占め、人工林資源は利用期を迎えている。</p> <p>特に、本地区は、人口の集中する福岡都市圏を擁していることから、木材消費地としての有利性を活かし、更なる県産材の需要拡大が期待される一方、水源涵養や山地災害の防止など森林の有する公益的機能の発揮が求められているが、都市近郊にある森林は開発の対象となりやすいため、調和のとれた土地利用が重要な課題である。</p> <p>このことから、森林経営計画等に基づいた主伐を推進し、本事業による再造林、下刈り、間伐等の適時適切な施業や施業の効率的な実施に必要な老毫性を推進することで、森林資源の循環利用及び公益的機能の発揮を図る。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：1,450ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：林道開設 1,100m</p> <p>総事業費：1,589,886 千円（税抜き 1,445,350 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 5.25$</p> <p>（総便益（B）=11,488,134 千円、総費用（C）=2,188,284 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林の有する公益的機能の維持増進や効率的な施業の実施が求められる地域であり、保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見ても、適切な森林整備の実施する必要があることから、事業の必要性は認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：本事業を活用した間伐や主伐・再造林といった適切な森林整備を実施することで、森林の有する公益的機能の維持増進や効率的な施業の実施が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 福岡県

地域(地区)名: 福岡^{かん}



(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,567,994	
	流域貯水便益	795,073	
	水質浄化便益	2,929,625	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,041,604	
環境保全便益	炭素固定便益	1,862,788	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	6,475	
	木材利用増進便益	6,388	
	木材生産確保・増進便益	1,230,301	
森林整備経費縮減便益	造林作業経費縮減便益	228	
	森林管理等経費縮減経費	20	
	森林整備促進便益	47,327	
維持管理費縮減便益		311	
総 便 益 (B)		11,488,134	
総 費 用 (C)		2,188,284	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,488,134}{2,188,284} = 5.25$		

福岡地域 事業概要図



凡例

	森林計画区界
	市町村界